

にっせん

日扇さま



作 園 貞 本 美 咲 信
監 修 本 門 徳 立 崇

日扇さま





もくじ
目次

第1話 にっせんしょうにん 日扇聖人 し を知ろう

第2話 とくど 得度 と だんりん 檀林

第3話 はんぞくはんそう 半俗半僧

第4話 まつだいらよりかねこう 松平頼該公

第5話 ぶつりゅうこう 佛立講 の かいこう 開講

第6話 あいつ 相次ぐ ほうなん 法難

第7話 えいさま お栄様

第8話 ぶつりゅうかいどうしょうにん 佛立開導聖人として



にっせんしょうにん し
第1話 日扇聖人を知ろう









幼少からいろいろな
師のもとで勉強に励み

書： 蘭学、漢学、医学
算： 蘭学、漢学、医学
歌： 和歌、漢学、医学
その他： 蘭学、漢学、医学
習得している。

幼少してその実力は驚く
文藝（一三集）一八集の書に
書かれた「平賀左衛門」
には十代で名が振る
様どのものでした。

平賀左衛門	竹外 徳	大 路 克	津 信 徳	新見 康 定	白 神	北 川 春 成
蘭学、漢学、医学	蘭学、漢学、医学	蘭学、漢学、医学	蘭学、漢学、医学	蘭学、漢学、医学	蘭学、漢学、医学	蘭学、漢学、医学
竹外 長 明	大 路 三 高	津 田 三 輔	新 見 友 之 次	白 神 平 八	北 川 春 成	
文九						

※ 蘭学一方面的な知識や文藝と並び、蘭学文藝の行儀と学習する
※ 蘭学一方面的な知識から日本蘭学の発展に貢献を究めようとする等



小さい頃はずまに
虎の輪を描いたら
近所の子供たちが
本物と間違っ
逃げ出したそうだよ

園イムラ

?

田舎者 一人は使ったことなし



いみんな才助が
あつたんだ



田舎者はみんな
名前を使ってはいた
んだけれど

「長松」と「清風」名を
一番好んで使ったんだ

「長松の下にまき」
清風あもという古謡を
気に入られてぬ



仙次郎
仙右
清風
三士
角

名前もいろいろ
あるみたいだよ

アッ
〇〇〇

日蓮上人は
「日蓮上人は、
『法華経』の教えを
弘めようとする
ため、多くの
人々を苦しめた
とされているが、
実際には、
『法華経』の
教えを弘めた
ため、多くの
人々を苦しめた
とされている
のではないかと
思われる。」

日蓮上人を
苦しめた
とされている
が、実際には、
『法華経』の
教えを弘めた
ため、多くの
人々を苦しめた
とされている
のではないかと
思われる。



二十五歳にならぬ頃には
その学問を断り、修行され
願望（願望）を断り、修行する
までになっていました。



じゃあなんで
お坊さんには？



日蓮上人の
前達はとてし
も明るかった



きっかけは大き
ふたつあってね…





そんな状況のなか
 日蓮聖人は次第に己の
 人生に思い悩むようにな
 ってしまったんだ

書道として字書
 としての未来は
 明るくても、この
 ままでよいのかと

すでにその心には
 仏心が芽生え始め
 ていたんだよ



書や和歌に
 励みながら
 座禅をしたも



龍勢の妙見山に
 一週遊覧つたのも
 この頃だね



聖人の仏道への
 関心は日ごと
 増していった



大國家の書道で
 ある浄土宗の勉強
 も始められた





なにをして
いても体面が
悪い出され



そのたび
に
悲しみが
募る



四十九日を
迎えてもその
悲しみはまったく
癒えなかった



そこで日雇聖人は
江戸へ遊学される
ことを思い立たれる

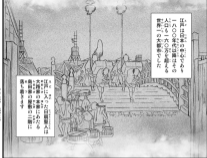


江戸や？



東京のこた

TOKYO
東京



江戸は徳川幕府の中心でもあり、一六〇〇年代以降はその人の多く一六〇〇年代を越える世界一の大都市として

江戸は徳川幕府の中心でもあり、一六〇〇年代以降はその人の多く一六〇〇年代を越える世界一の大都市として



江戸には
どのくらい
いたんですか？



江戸幕府人はさっそく
食料を求め、まもなく
物産博覧会の門下生と
なり物産に臨みました



2
9 10
どのくらいかな



調の置きにあてられ
戻に状としてしまったのです



調子は次第に悪化し
回復も難しいという悪夢の
展開を心なりました



辛いなと一とに
脱出で病状は
回復したけれど

日置聖人にとって
は死を覚悟する
出来事になった

これが
まっかかげの
ふたつ目



この体験で
「死生一如」を
悟った日蓮聖人は

それと、
死生かの世によりかたず
かてすにせらるゝ

おのや見ずいよ

しみることも

いくちかともして感なきに
しなれずやれり身やあるらん

死について
通観したとら
とれる言葉
強している

弘法大師(二六四四年)
日蓮聖人は弘法大師を
作らぬり朝へと廻ります



京都に戻った
日蓮聖人は

今までも
増して仏道に
のめり込んだ

それと同時に私塾を
開き門下生を率いる
一門の長ともなった





第2話

とくとど 得度と檀林 だんりん



「日蓮聖人の説法録を教えることになった。ことごとくちゃんと申うとてん日蓮聖人の一生を追って今日も御講義から話を聞いています」



ある日、日蓮聖人は本願寺で書簡の御話を聞いた



「まことに本願寺ってあの御開講の？」

「あ、たね」



本願寺のことで有名なお寺

だけど

本願寺は門祖日蓮聖人が建立されたお寺なんだ

にちりゆうってなんか聞いた名前だ！

あまこ



御講とかで御講お尋えしているはずだよ



妙講一座の御講文に載っているからね

門祖の由来でもある日蓮聖人は室町時代に生まれお願師の教えを継がれた方なんだ

再興玉導
門祖日蓮大聖人

だから御門では再興玉導といわれいまでもその教えを受け継いでいる







「ここで日蓮上人は
佛土の御上人に
お会いします」

「その奥で
日蓮上人は
お会いしました」



「日蓮上人は
御座います」

「佛土の教えは
何かが見えない
どうすればよい
のでしょうか？」

「本門へはの教えを
学んでからんさい
あなたの問いにあす
応えてくれますよ」



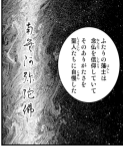
「日蓮上人は眞主である
日蓮上人の教えを受け」

「佛土の御上人に
お会いしました」

※ 法華経本門八品：菩薩摩訶薩の修行次第の中で、菩薩摩訶薩が自らも菩薩となり、菩薩道を行くための修行が最も重要とされている



その賑やかに
なった場で
僅心が話頭
に上ったんだ



南無阿彌陀佛

よたりの居士は
念仏を信受して
そのありがたきを
聖人たもに自覚した



それを聞いた
日蓮聖人はすぐに
法華経本門八品の
大事業を説いた

すると居士たちは
腹を立て、口論に
なってしまったんだ



ま……まさか
それでアタシヨンの
みたいなバトルに……

燃える疑問だね！

ないぞー！
そんな少年漫画
みたいな演出

あーあ、
燃えるぞー！



その確固たる意志の強さ
 豊かな知識 悟心の強さに
 藩士は圧倒されてしまった



まあ あわや確固に
 なりそうではあった
 ようだけど 聖人は
 いったい勝てなかった



曰く聖人って
 気が強かった
 んですか……？

うーん……
 というよりは
 本門八品の教え
 への確信かな

かくしん？

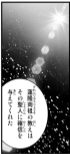
あわや
 け……あ……



國伏された藩士は
 そのままです……
 立ち去ったとか
 いないとか



心に確信を得ると
今度は教を新びの
心が燃え上がった



聖書同様の教えは
その聖人に確信を
与えてくれた



日蓮聖人が諸宗を
批判していたのは

ごそれという
宗派を見つげる
ための行動で

納骨として
開宗を勧誘することに
なったともいえるね



法華経本門八品こそが
正しいという確信が
あるから違かないし

開宗を勧誘
してきたから
その正しさを
裏付ける
こともできた







道場内で修行をしたのは簡単していた方がいらっしやうたからで

心光院無住と稱した日蓮上人という

心光院無住
日蓮

字蓮として名の知れた方だった



日蓮上人とは本願寺の院主日蓮上人に紹介されて出会い

入信してから得度するまでの間たびたび交遊に濃い教えを受けた



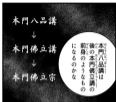
それとは別に私通折伏をより大きくしていく為に

得度する数か月前には日蓮上人を講主に本門八品講をつくりそれに参加している



でもこの時は日蓮上人の院主があつて活動が弾圧してしまつた

だから八品講を続ける為にも自身が得度をすることを決意されたんだ





體心を
「無常」とした
日蓮聖人は

難行苦行で
新しい修行を
始められた



32歳って
珍しいん
ですか？



人生五十年
っていわれてた
時代だよ



師となった日蓮上人も
三十二歳の日蓮聖人に
一切手を交わなかった

日本の平均寿命

江戸時代 - 30~40歳程
明治・大正時代 - 43歳前後
戦後(1947年) - 男性50歳 女性54歳
2014年 - 男性80.5歳 女性84.8歳



これが日本の大まかな平均寿命の遷り

当時は乳幼児の生存率が低くてそれで平均が低かった

平均寿命が延びた理由



日蘭聖人はその努力を凝らしてからまったく違う道を歩みはじめた



二十一歳以上であれば江戸後期で平均寿命は六十歳



すでにあった地位や立場を捨ててね



人間っていろいろの故、深い生き物だから

手にした地位や名声はなかなか手放せないし手放さない

白蘭上人はそれだけ価値に人生をかけたんだ



遺林って言うのは僧侶の学校のことだよ

いまの宗門でいう臨済は教團専門学校



白蘭上人もそんな弟子の姿勢をみて遺林に入れる決意をされた



だんりんん？

？

「お前さんの『日蓮聖人』って何？」と聞かされたとき、

「日蓮聖人の説く『法華経』の教えを信じているので、その教えに入ると、蓮と聖に響いてしまっていて、それと響かざるようになら

「蓮は、『法華経』の教を信じた菩薩で

字面通りに読まると、蓮の姿を模倣に例えたのが元々、といわれているね



本門法華の蓮花は其蓮の思想にある本願寺

漫収!

そこは日蓮聖人の建てた八景堂で、一番の道場として位置していたんだ



教字に助んできた日蓮聖人にとって、そこで字よことは以前からあった



法華をして修行を助えて、字面としての教字に助む

蓮花の教

蓮花の教の教

蓮花の教

蓮花の教

蓮花の教

日蓮聖人はこれ以上ないやる気に満ちていたはずだよ





師匠は本願寺の真主
日蓮上人に法脈を
継いで字の準備を
全て整えた

じやああととは
そこで勉強して
卒業して偉く
なっていていつて
…ですか？

それくらいなら
まじめなものもラッ
だし丁度いいなあ
よかったなあ



おんがら

…そうだね
普通はそう

そうなる
はずだった



本来なら日蓮上人は
ここでおおいに学び
宗内において確かな
立場を築いたと思っ
う

立派な字體として
名を残し本門法華に
大きく貢献したこと
だろうね







だっ…願が思い
事をして連れ衣を
着せられちやつて
それで遠林にいられ
なくなつちやつた
とかですか？ あいふ



遠にうこめく願究の
計画を知つてしまひ
遠われる立場になつ
たというわけですね
そしてそこから始ま
る壮大なストーリー！

ほんぞくほんそう
第3話 半俗半僧



この頃の私教は
国の宗教という
立場を与えられ
ていました

国教 = 仏教

流行の悪い平良



平良田なもの



世しい家もの



しかし
出家するものは
僧侶を志した
人ばかりでは
なかったのです





安定した華らしさを
おくれる隠微下で
飲にまみれて過
していったのです



彼らは
出陣してからも
修行に励まうとは
しませんでした



実用機関として
家えていた雑林に
入るものも同様で

家内での活動で
勝つばかりが
その目的に
なっていました











日僧聖人と
羅刹の学僧

本國寺や宗門が
どちらを重ぶか
わかった上での
勝りだったのも



宗門は必ず
「信心者」を
敬むたろう
っててね



日僧聖人は
本國寺に於て
早々に羅刹を
打ちなれば
ならなくなった



そして日僧みどおり
学僧たちの申し出は
受け入れられ

ひっどーい



この出来事は
白隠聖人にとって
大きな一件だね

本門宗廟の現状に
対する失望と憤りは
相傳なものだった



懐れた道林には
こんな僧しか
いないのか
ってね



そして白隠聖人は
京都の生家に戻る
ことになる



享和五年(一八五三年)二十六歳の日蘭通人に對の増林へ行く機会が訪れます

しかし、その増林行きに蘭館の友人たちは反対したのです

増林に行き
そこを出て
京内でも高僧に
なっても

蘭館から願われた
存在になつては
意味が無い

どうして
ですか？

認める
ものは
無い
分は
この
だ





ええ——っ!!!

そう
正統には僧に
なっていないんだ

はい



ただあくまで
本門宗廟に認め
られていないだけで
僧侶はしてるから
僧は僧なんだ

半僧

でも本門宗廟に
認められた完全な
僧じゃない

半僧

半僧は俗人
半僧は僧という
半僧な存在に
なったんだ



それでも
本門八皇の教えを
人々に教えること
はできる

そう考えて
日蓮聖人は大國家で
活動を始めた





西行庵は平安時代の
僧侶であり歌人だった
西行法師が命を
遺した地とされ

日蓮聖人は
ここを修行の
家とします



当時の西行庵は
僧人のボヤ屋でね

日蓮聖人は
ここで修行を
することにした

一万遍口
をほじめる

本門八品のお願
を讀みあげる



これをまず
100回読んだ



そんな中であって
西行庵には次第に
人が集まるようにな
り始める



そうして日蓮聖人は
西行庵で2年後、
修行に没頭する
日々を送ったんだ

睦月・如月
春生・卯月
早月・水三月
文月・紫月
辰月・神無月
五月・仲夏



ようするに
僧侶になりたい
人がだんだん
増えてたってこと



修行しにや

数えを
讀いにお



世の中は幕末維新
に突かって物騒な
情勢が続いていた

不安な中にいると
人はなにかに救いを
求めるようになる

そしてその
敵の先が
日麗聖人
だったのさ

他の誰でもない
高祖高麗日麗聖人に
殺ってほしかったんだ

ただ諸人

一人たりども御杖死し給よが

高祖への御奉公也

種族を追い出されて
そんなボロボロにいても
ひとが集まるんだ……

どんなに陣りが
潰そうとしても
教化折伏の灯は
消えない

消さない強さが
日麗聖人には
あったってこと
なんだろうね





第4話

松平頼該公

まつだいらよりよきかねこう



京都市東山区
の新興前通

天の家

福小森東洲院の
徳医の屋敷敷

などを計る
敷屋をしたんだ



また不慮に
思われたん
ですか？

んー今度は
ちよつと違うかな



日蓮聖人のちとに
人が押し寄せることが
反感を買ったんだ

どろろ



市内で何人が
右衛門助をする
ことは禁じられ
ていたから

徳宗の儀者から
強い立てられる
羽目になったのさ

☆ BOOOOOO!!! ☆

清風

どこへ逃げやっても
日蓮聖人の教化力は
届える一万でぬ

ただの國家で
それも半信半疑の
人間の布教活動が
成功してもや

寺院の僧の
意味はな
くなってしま

怒

怒

怒

國辺の諸家は
日蓮聖人を脅威に
感じて恐れ始めた

るるるるに

我とかへつるすみかより
おひまてしれし 教をお国やる

日蓮聖人は
ずっと引っ越
して生活した
んですか？









松平頼政



高松藩第10代藩主
松平頼政の真像
であり本門活劇の
案内に一石を投じ
た小説家本書です



頼政は、弟の頼政が
家督を継いだおりに
高松藩下の富田村に
松平荘に隠居すると



決闘の儀となり
時流私闘に準ずる
ものになりました

彼は自衛隊人と
同様に、家内の現状
に対して失望して
いた人物であり



高松藩において
志士を中心とした
結社作りが指導者
となっていました



領土の威厳が普遍
する反面で在郷の
運動は発展しててね



在家って
なんですか？

出家しない
僧侶の生活
しながら仏教
に感化する人
のことだよ



おかげで僧侶は
もう在家と在郷で
区別する意味はほぼ
無くなってたんだ

東法の世界で
正しい教えを
伝え広める



パーカー。

それが東門の視野
だからそれができて
いけばもうその人は
無名といっても
間違いない

出版物の普及で
在家でも教字は
できたし

同化私塾に
その勢を伸ばしていれば
在家でも出版している
ものと変わらない

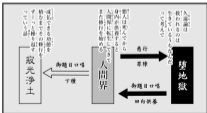
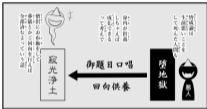
変わるまいなら
懸念した家内の
徳四なんて必要無い

そう考えて
活動していた
人物が松平國談
ってわけ













この戦争は
日蓮聖人の耳にも
入ってきてね

教学を運んできた
日蓮聖人にとって
傍聴してはもらえ
ない話だった



綱目と同じ
久遠寺だね

久遠寺



日蓮聖人は
どっち側だっ
たんですか？



久遠寺には他に
経道の日蓮上人や
教化の日蓮上人、
本願寺の妙法蓮華王
日蓮上人などがいた

日耀

日誓

日雄



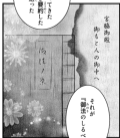
「青木源の筆蹟は
本館専ら買主
になった日録

白切



「松平彌次郎の
存在を知った
日録主人は

「前かがやうてきた
八景文字を要約した
書を彼に送った



「文政出版
御もとの御十へ

「それが
『御法』のしるべ



「彼は久遠家の
人間を要内から
意欲すること
意欲の収束を
図ろうとした

「日録主人と
彌次郎はこれに
決然と対峙
したためけ



御返のしるべき
讀んだ御返は
いたく感歎し

日蓮聖人を
高松へ招待
すると



ふたりは
すでに
御返致合



これで
日蓮聖人は
佛立講の御講
に歸み切れた

あっさり
ですわ御講

お返事
ありがとうございます



御返の契りも
交わすに當るんだ



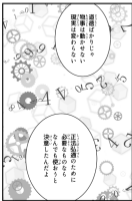


日雇聖人も
現実的を考へる
するようになって
きたみたいだね



変わらないのは
広重の想いだ
ただひとつ

それが日雇聖人の
すべてだったんだ



道徳ばかりじゃ
物事は動かさない
現実が変わらない

正道弘道のために
必要なものなら
なんでも使おうと
決意したんだよ

安政四年

それは多くの
志士がいる中で
一人という小規模
な輪でありました



安政四年（一八五七年）
一月二日、日蓮聖人は
文相宮にほど近い
谷町通七宅で佛立講を
開講します

第5話 佛立講の開講



本門佛立講は
松平健蔵との
密で結成された
新講であり

新講は高松本門佛立講
そして日蓮聖人は
定本門佛立講と
異して松平健蔵を
排除したのでした

花洛佛立講

本門佛立講

高松佛立講



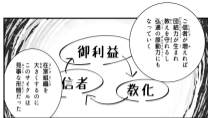
高松本門徒工場の
私達は徳政四種の
基本をその対象の
中心としたもので
精進したいにもか
ら入れています



村して自他聖人の
高松本門徒工場は
別個の財政を込通
の対象としていて
現証利益による
民衆救済が標榜と
なっています



民衆
救済





有清寺はもとほ
本門寺と称したお寺で

一八五七年に大塚した終りに
日蓮上人が御遺書を勧められ
その語を日蓮聖人に
持ちかけたのでした

日蓮聖人は
この語を快讀し
講をあげて修復
することにした

有清寺に師匠の
日蓮上人を迎えて
獨立講で管理して
いこうと考えたんだ

修復作業に勤む
一方で講の勢力は
大津にのびる

大津って關の
邊關原にある？

そう



大津に書翰を
広げた路の語では
小野山崎兵衛を
物乞した話が
聞いているね

酒を飲まなければ
話の運びが
通じない
話してました

本職で
働いて
いた
高橋
三郎は

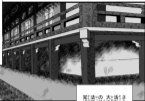
高橋三郎の
妻は
高橋三郎
と高橋三郎
の間に
産まれた

すると
高橋三郎
は高橋三郎
の間に
産まれた
高橋三郎
の間に
産まれた

高橋三郎
の間に
産まれた
高橋三郎
の間に
産まれた



京都と大津の
二宮は力をあわせて
明治半の神皇正統系を
一八五八年に完工

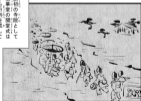


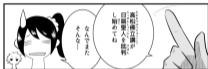
さらに大津御立所
の神代所として、
大津法皇宮（御立所）
の建立に着手します
法皇宮は一八六二年に
完成となりました



御立所様の寺院として
大津法皇宮の御立所は
京都から行幸を感して
入心御座がまわれる
大御事なものと成り

御立所御立所を以て
御立所二宮・御立所三宮
となる處之御立所御立所
日御立所に御立所入り
することになります







本山の許可なく
御本尊を写したり



高松無は日蓮聖人の
秘傳への取り組み方が
気に入らなかつた



従来の作法では
ありえない儀行を
させていた



なにより許せ
なかつたのは
例から脱却を
望んださいに

頼該の名を
使ってそれを
回避している
ことだつた

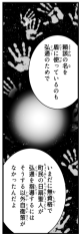


日蓮聖人は
なにか考えが
あつたらですか？

もちろん
意味もなく
やったりは
しないさ



といっても
考えてたのは
民衆への正法弘通
だけなんだけど



「新法」の名を
闇に使っているのも
弘通のためで

いまだに無明暗で
町民の目醒聖人が
弘通を標榜するには
そうする以外自衛策が
なかったんだよ



民衆が
信心修行をするには
旧法教団とした
法華の作法は
難しすぎた



「新法」を考ずるのも
正法を説いているのは
無立派だけなのだから
困難をいとしたり



だから
民衆に理解できる
簡単な作法を考え
それに委ねて
いったんだよ



日蓮聖人は
これまでの経典から
蓮華開花の教えは
自分が弘通しなければ
ならないと決意していた

だから頭として
開化の経典に照したり
まして本門法華の
意向に始うをんでこと
はありえなかつた



義
絶

花洛本門佛立談

高松本門佛立談

しかたなく
開化は日蓮聖人との
交遊を断絶

日蓮聖人は
政治的を断る断を
失うことになつたんだ



開化として
自身は日蓮聖人に
法的的でなくとも

高松藩 許すな!

No! 清風!

高松藩内の不慮を
抑えることはもう
できなかつた



消滅!
下

清風



通り過ぎて
ご縁を
作ったのだ

御室御所御内
今大路法橋清風風奇

皇國の盛衰を受け
大津での新試戦衣も
願望なものになった



白眉聖人は
大津に廟を
建て

私通に陥む一方で
國の相繼變化を整備
にも取り組んだ

この時期の主な書籍
・佛立跡史
・鬼神論釋疑
・三身法華集
・御聖教傳聖傳定抄
・西多若日集
・十三回答抄住札
・沙基二千九千世系
・善宗御書傳定抄
・内教六卿到教七位五二
・修律二見問答
・佛立諸御書不違定文書
・觀音菩薩威徳定抄
・檀書巻地
・鳥堂親仕抄
・初八真蓮堂
・二國講道杖宣具無同心教誠狀



ただ世間の
情勢は戦火の嵐大が
止まらなかつた







仏教界は大きな
変化を迎える
ことになった

明治維新を経て
新政府が誕生し
神道国教化が
始まると

あいつ ほうなん
第6話 相次ぐ法難



そう
仏教の代わりに
神道を広めようと
したこと、で仏教界は
騒然となったんだ



八幡方を模して
神社に参拝するって
ことですよな？



じんとう……？

新政府は
神仏明神宮を出して
仏教を禁断する
動きに乗り出した

新政府は神仏明神宮を出して、
仏教を禁断する動きに乗り出した。
神仏明神宮は、
神仏明神宮を出して、
仏教を禁断する動きに乗り出した。

神仏明神宮の遺物は
当然大津にいた
日蓮聖人の墓にも
入ったことだと思ふ

大津の諸寺は
この機会を日蓮
滅しの好機と
とらえた

打倒
清風

縛!!

佛の墓のない
日蓮聖人を政府に
縛もえてもらい

笑っ

そのスキに
大津と京都の両陣を
活動不能にしようと
画策したんだ

壊!!

どきッ

















ただ本門法華宗が
日蓮聖人の再出家を
すんなり許すわけも
なくってね



修行場の文書

一、正法を戒断する

起ころざないこと

一、御本尊を勝手に

下し直さぬこと

一、出家後は本門法華宗に

戻ること

一、寺内に於いて沐浴場の

敷金を持ち込まないこと

等々……

いくつかの条件を
つけて山内に受け
入れることにしたんだ

修行場の文書

はー



本龍寺の御を
立てて佛立調の
拜殿を設けるなら

一時的な忍辱は
大した問題じゃ
なかったんだ



聖人は守れ
たんですか
コレ？

一応はね





悪魔はなくなっ
たんですか？

まさか

遊園子や御宿舎と共に
青蓮寺を完全に荒廃を
再開された人だけと

家の定その弘通愚動を
懐く思わない諸寺から
の御住は聞いたんだ

大正法皇から四年
の一八七二年に

日蓮聖人はまた
ネリシタンの悪法と
奮闘され牢に入れら
れることになった









ただひとつ
書えることは
確かなのはいまも
読いてるって
いうことなんだ

開通った機えなら
信者は増えないし
現在にまで続く
わけはない

お清水にしても
医学の発達した今
聖利益をいただいて
いる信者は数多い



そのために夜内を
整備することを
日蓮聖人は徹底した



もちろんこの宗門を
発展させ継続していく
ための努力を日蓮聖人は
惜しまなかったし



時代に沿いながら
感度を大きく
させていく

その取り柄は
真実の感度となって
響きあふんだ



これだけ法則というか
法則に導かれてるのに
増え続けるって
すごいなあ……



調から二十年ほどで
独立調は力を散える
この書を有しなとお覺悟
して今に続いていく
ことになる



白濁聖人の體えが
正しいからこそだと
ぼくは思うんだ



第7話 お家様





南無寺を修学所として活動していく中で、字彙が増えてきたのが理由のひとつだね



ご結婚されたのは一八七一年

キリシタンの聖法と四十二日断食に入られる前の年だね



お梅の手は



日蓮聖人の御身も弘通教化に奔走していたからどうしてお世懸するひとが必要になったんだ



二十六歳という
当時では晩婚で
日置聖人の妻と
なれたんだ

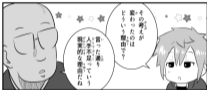


竹内倫吉という
ご婚者の嫁さんで
名前は栄



栄も善げ
バカちゃん

五十五歳と
二十六歳！なんか
ドキドキする……！





譲がらせとかも
あったそうだけど
それもさっき言った
ように政府の許可で
正当化されて事をき
を推したんだ

自今僧侶肉食禁断
違反等可成勝手事
法政府としは今年迄
仏教界の規律に
関係も介しない
と云う報告

先般性が
すこいんだな
この方って…

商標の恩力で
字體のお世話も
できるようにな
ったし

榮きまはしつかりと
日蓮聖人と佛立調を
変える役を担われた

一八七二年に
日蓮聖人が入申した時ち
お弟子と共に海濱寺の
留守を預かってお寺を
お守りしたんだ



一八七五年二月に
神皇正統系を編纂
する日蓮聖人は、
新皇統と名付け
たのでした



神代として
政府の国民教化運動
による神代化が
憲法化して来たのだ

仏教界の悟化による天皇の神格化

および富国強兵

お洪水のことで
關原政令が出た後
になるのかな

獨立調のために
日蓮聖人が奔走
している七五年
の五月中頃

關原政令が既に
かかってしま
ったんだ



大本師には法名が
与えられお願には
偏文と日願聖人の句が
彫られたんだ

法名 長清孩子

偏文 娑婆三月二日句夢

妙法聴音自得宝

草の露

むすぶえにしも

法の庭

かりそめのちも清麗

遺しみの寺にあって
日願聖人の目撃であり
変えになったものがある

それが一八八一年の
高瀬六郎圓通遷葬









施設は多くの有志
によって一八八〇年
本門創立調練台場と
命名され建立された



加えて代議館の
育成施設として
創立理字所の
建立に着手し



大津創立寺という
名前になって正式に
創立調練初^{ハツメ}の建立
寺院になったんだ

さらに一八七九年では
大津法華堂の寺号公称
が滋賀県に認められて



大津港を前に
ご借金は三万を
返せるほどに
なったそうだよ

30,000

お





柳指南の

嵐

開国した東洋から
独立して大國影を
威嚇させるために

日蘭蘭人は
ひたすらに講の
備心改良に努めた



一万五千は
今でもスゴい
ですね！



ただ
残念なことも
あってね…

え？



運じた高麗六箇國國運津は
一八八一年十一月十一日
から一三日まで奉納され

実に一万五千人余り
というこの儀者が檢査
されたんだ



亡くなられた日も
希望でお祈りしながら
息を引き取られた
そうだよ



皆さまは病院でお
日々の「万葉口頭」は
息をなかつた



日蓮聖人の
教えだね



どうして
そこまで...



享年三十六歳
日蓮聖人を変え
難法に思くした
方だったんだ



本堂ほんどうにいて見よ
そこが華嚴光くわごんこう



なんだか…
寂ないですね

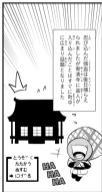




この建物が
うらやま

大連閣を築いた
日蓮聖人に願望
に訪れた園遊は
内部が賑だった

おつりょうかいどうしょうにん
第8話 佛立閣導聖人として



おび心んだ御堂は池に響くえ
んれましが御堂等に御入の
入り込んでんことほすうに御
に返まり御堂となりました

とうせつ
たんがう
あすは
10時

HA
HA
HA



園内をまとめること
には結構的って感じじゃ
なかったですっけ?



なんでそんな
ことになるん
ですか?

まず御堂等に
御入が入り込んで
のがキツカケだね



この数々を動かすついでに
説明は智恵寺の本尊に
もはや地方は無いと
徳立調を定例

一方の白眉聖人は
誰ひとり徳立人が
おなかつたことも
あり

むしろこの出来事を
前向きにとらえたか
とさえ言われています



前向きって
いふのは？

白眉聖人が智恵寺を
任された当時から
ボロボロだったからな



だから富強があると
思われるほどの寺に
なっていたことには

ある意味で手返えを
感じただよ









八尾さまは家さまの
番柄もなさっていて
家さまが亡くなった後

白濁聖人の
再婚相手として
四郎を薦めた方
なんだよ



上層部はその
八尾さま事ある
女性たちの選考
を監視した

BOOO



白濁聖人も選考の
促進に努むたの
再婚に応じて

八尾さまも
再婚されたんだ



……なんか
女性差別
じゃないか？

多分なり
その見方も
あったからね

……



一方で
仲間の手に掛かる
行動をする者がいます

日ごろ講を社務する
日のを新状しようと
敵名が本能寺に集り
込んだのです



講を社務する
切り崩す側として
新状したのでした

日中は
そんな顔ら
逆の新状し







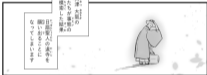


校舎し壊滅して
きた者たちに
親切のめたことは

日蓮聖人に大きな
情けと哀しみを
与えるものでした

京都・大津・大原の
代行者たちが、聖徳の
遺徳を継承した結果、

日蓮聖人の遺徳を
継い出ることになっ
てしまいました



結局もう
そうしない
事態の収縮がつか
なかつたんだよ



えも結局
出ていくん
ですかあ？



内教を助こした
人たちを追い
出すならわかり
ますけど……



日蓮聖人がいると
ずっと目をつけ
られてしまう

永作 蓮如

大きく変わった調子を
感受させていくために

手の取り早い
新法をとった
ともいえるね



日蓮聖人はお考えの末
龍溪寺を弟子である
親善師「日蓮上人」に譲り

ご自身は
法華へと
移られた



山門仲しよ
由緒寺に
長松寺

法華はゆもに
長松寺にをって
寺に置っている



そりだね

え

引いて
こゝですまや



人生の終わるまで
調の宮殿に留めよう
と決意された



無心寺に調
された目録聖人は
大導師と呼ばれる
ようになり



五々の指障といって
無心寺を脱した調聖師
を筆頭に全調を集めて
行われた指障なんだ



調の身で
どうやって？

毎日の日に
無心寺から字體を
導んで調聖を始め
たんだよ





さらには毎月一日
十五日の修行日
毎月四日の御講席

御座敷に用いた
御座敷はゆうに
三千を超える額
を積まれている



一八八六年に七十歳を
迎えてからはご自分が
いなくなつた後の事を
考へるようになった



自身の死後にも御立書が
存続していけるよう
御立書の作成も
精力的に行つたんだ

亡くなったのは
いつなんですか？

一八九〇年の
七月十七日だね

林檎に立ち寄った
高野の御願所で
最後は足を引き
取られたんだよ



その日は
家族やお弟子を
連れて

船で淀川を下って
大阪の難波橋に
向かっていったんだ

有清寺×
長松寺×
誕生寺×

盛和やお寺じゃ
なかったんですね



高麗は韓にお寺
になつてゐるし
これも仏道のご國
といつたところ
にやないかな

義天寺



亡くなる前日まで
現世御井了、歸ふたりの
お弟子を指導して
後を立って死したし

日蓮聖人としては
やるべきことを
やり通して生還を
念うされたと思ふよ

御牧理直
第二世法有 日蓮上人
野原弁了
第三世法有 日蓮上人

伴五郎導



その功績を
称えられて
一八九九年に
日蓮正宗
の正位

一九一二年には
大僧正に
なされてゐるんだ

法諱

義天院無食

清風日輪大徳





